

9.10 景観

9.10.1 調査内容

景観の調査地点等は、表－9.10.1に示すとおりである。

また、調査地点図は図－9.10.1に示すとおりである。

なお、調査地点の選定理由及び調査頻度の設定理由は、以下に示すとおりである。

《調査地点の選定理由》

景観の調査地点は、供用後の建設候補地の周辺からの景観の状況を把握するため、建設候補地からみて4方向の4地点及び入口付近の1地点を選定した。

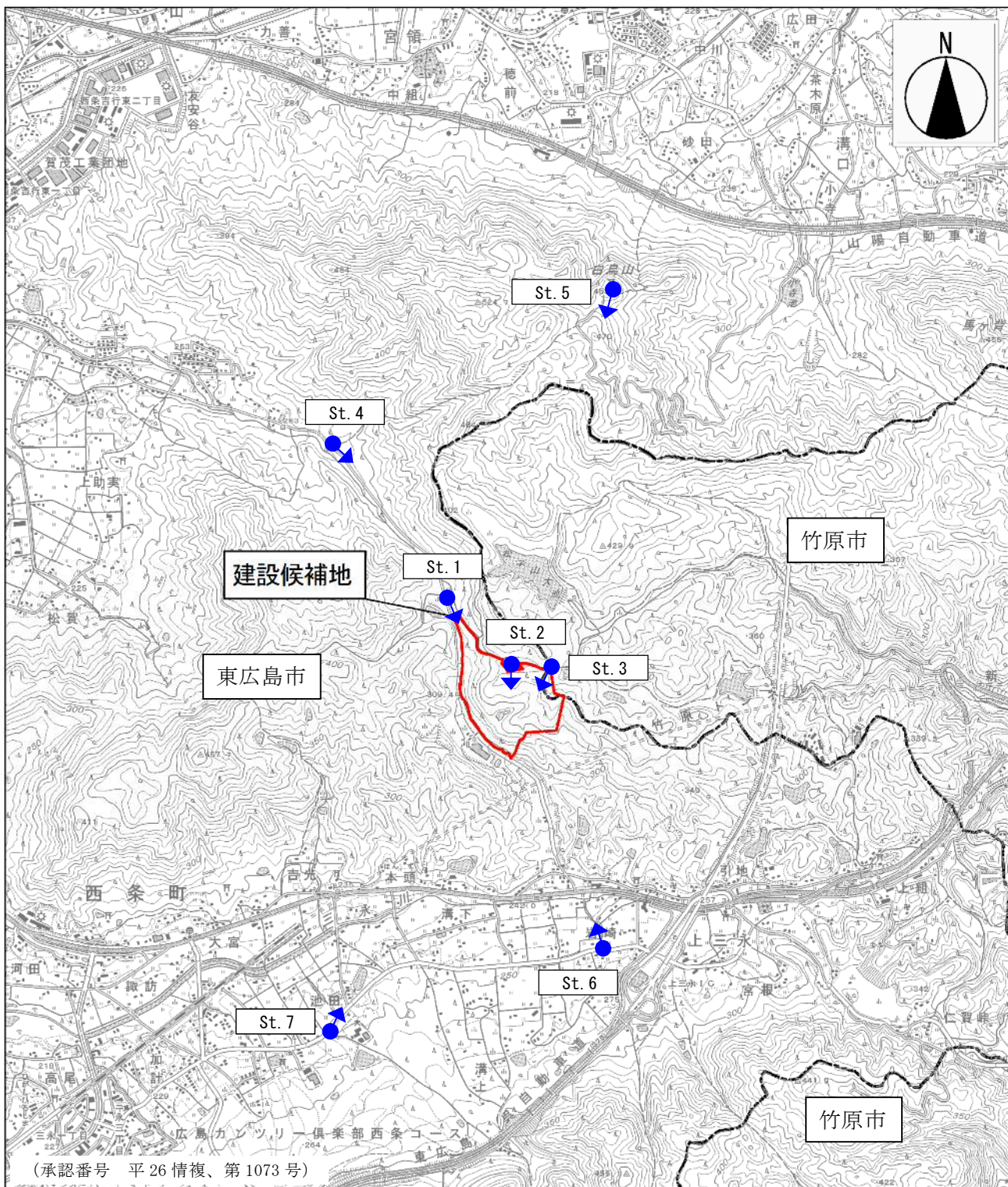
また、広島県環境影響評価技術審査会の意見を受けて、調査地点を西国街道にて2地点追加した。

《調査頻度の設定理由》

景観の調査頻度は、季節の変化に伴う景色の状況を把握するため、4季調査を実施した。

表－9.10.1 景観の調査地点等

調査項目	調査方法	調査地点	調査頻度〔調査日〕
・ 主要な眺望点の状況 ・ 景観資源の状況 ・ 主要な眺望景観の状況	資料調査及び現地踏査による方法。 主要な眺望景観の状況は、写真撮影により行う。	7 地点(建設候補地周辺：4 方向、入口付近、西国街道 2 地点)	年4回 秋季：平成25年11月23日 冬季：平成26年1月24日 春季：平成26年3月22日 夏季：平成26年7月25日



凡 例	
●→	景観

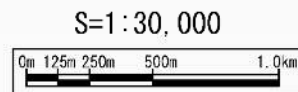


図-9.10.1 景観調査地点図

9.10.2 調査結果

(1) 主要な眺望点の状況

現地踏査及び写真撮影により、主要な眺望点の有無を確認した。

主要な眺望点の状況は、表-9.10.2～表-9.10.8に示すとおりである。

表-9.10.2 主要な眺望点の状況 (St.1)

調査地名	眺望点からの状況	視認 ^{注1)}
<p>St.1 (入口付近)</p>	<p>・前方に見える樹木の背後が建設候補地である。 ・将来、進入道路が造成される位置であることから、樹木が伐採され、進入道路が出現する。 【建設候補地までの距離⇒約 150m】</p>     	<p>○</p>

注) ○：建設候補地を視認できる。

表-9.10.3 主要な眺望点の状況 (St. 2)

調査地名	眺望点からの状況	視認 ^{注1)}
St. 2 (西国街道 の鍾池)	<ul style="list-style-type: none"> ・鍾池の前方に見える樹木の背後が建設候補地である。 ・将来、背後の山が造成されることから、樹木の隙間から構造物が見えたり、樹木の上に煙突が出現する可能性が考えられる。 <p>【建設候補地までの距離⇒約 50m】</p> 	○
		

注) ○：建設候補地を視認できる。

表-9.10.4 主要な眺望点の状況 (St. 3)

調査地名	眺望点からの状況	視認 ^{注1)}
St. 3 (西国街道)	<ul style="list-style-type: none"> 前方の樹木の背後が管理道路である。 将来、西国街道へ出入可能な管理道路を設置することから、施設が見えるようになる可能性がある。 <p>【建設候補地までの距離⇒0m】</p> 	○
		

注) ○：建設候補地を視認できる。

表-9.10.5 主要な眺望点の状況 (St. 4)

調査地名	眺望点からの状況	視認 ^{注1)}
St. 4 (松子山浄水場付近)	<ul style="list-style-type: none"> ・写真の前方が建設候補地である。 ・将来、前方の樹木は開発されないことから、建設候補地を視認することはできない。 <p>【建設候補地までの距離⇒約 1,000m】</p> 	×
	 <p> 秋季調査結果 春季調査結果 冬季調査結果 夏季調査結果 </p>	

注) × : 建設候補地を視認できない。

表-9.10.6 主要な眺望点の状況 (St.5)

調査地名	眺望点からの状況	視認 ^{注1)}
St.5 (白鳥神社)	<ul style="list-style-type: none"> 前方に見える山林の背後が建設候補地である。 将来、前方の山林は開発されないことから、建設候補地を視認することはできない。 <p>【建設候補地までの距離⇒約 2,000m】</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>秋季調査結果</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>春季調査結果</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>冬季調査結果</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>夏季調査結果</p> </div> </div>	×

注) ×：建設候補地を視認できない。

表-9.10.7 主要な眺望点の状況 (St. 6)

調査地名	眺望点からの状況	視認 ^{注1)}
St. 6 (上三永地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・前方に見える山林の部分が建設候補地である。 ・将来、山林部分に煙突が出現するようになる。 <p>【建設候補地までの距離⇒約 1,100m】</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>秋季調査結果</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>春季調査結果</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>冬季調査結果</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>夏季調査結果</p> </div> </div>	○

注) ○：建設候補地を視認できる。

表-9.10.8 主要な眺望点の状況 (St.7)

調査地名	眺望点からの状況	視認 ^{注1)}
St.7 (東広島市 立三永小学 校付近)	<ul style="list-style-type: none"> ・前方に見える山林の部分が建設候補地である。 ・将来、山林部分に煙突が出現するようになる。 <p>【建設候補地までの距離⇒約1,100m】</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>秋季調査結果</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>春季調査結果</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>冬季調査結果</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>夏季調査結果</p> </div> </div>	△

注) △：視認できる可能性がある。

(2) 景観資源の状況

建設候補地周辺の景観資源の状況は、「日本の自然景観 中国版Ⅱ 広島県・山口県」(平成元年、環境庁)により情報の収集を行った。

情報の収集を行った結果、建設候補地周辺において、景観資源となる山脈、滝、湿原等は存在しなかった。

9.10.3 予測及び評価

景観の予測方法等は、表-9.10.9に示すとおりである。

表-9.10.9 景観の予測方法等

内容		予測事項	予測方法	予測地域	予測時期
土地又は工作物の存在及び供用	地形改変後の土地及び施設 の存在	主要な眺望点及び 景観資源並びに主 要な眺望景観	フォトモンタ ージュの作成 による予測	建設候補地 周辺	存在及び供 用による影 響が最大と なる時期

(1) 土地又は工作物の存在及び供用

a) 地形改変後の土地及び施設の存在

① 予測事項

予測事項は、主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観とした。

② 予測方法

予測方法は、フォトモンタージュの作成による予測とした。予測フローは、図-9.10.2に示すとおりである。

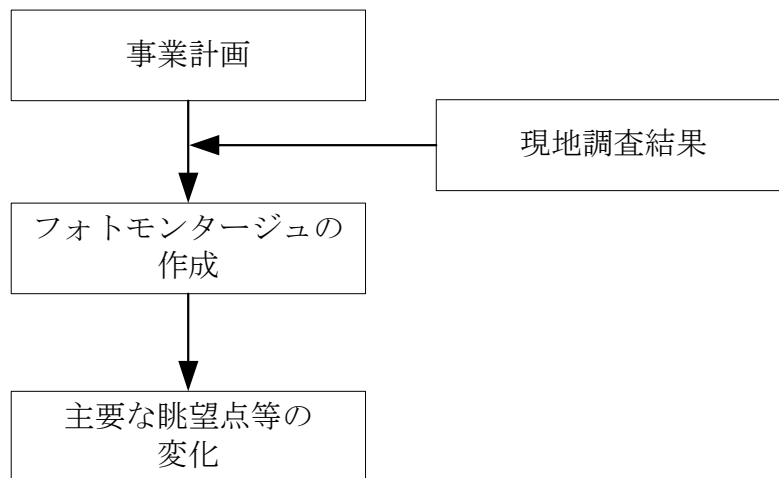


図-9.10.2 予測フロー

③ 予測条件

ア. 予測時期

予測時期は、施設の供用が開始される平成 32 年 10 月とした。

イ. 予測地点

予測地点の選定理由は、表-9.10.10に示すとおりである。予測地点は、「9.10.2 調査結果」による建設候補地の視認性により選定した。

予測地点は、St.1、St.2、St.6の3地点とした。

表-9.10.10 予測地点の選定理由

視点	事業計画地までの距離	視認性解析	主要な景観構成要素	選定理由
St.1	150m	<ul style="list-style-type: none"> 建設候補地方向は、事業計画上、搬入道路を設けるため建設候補地の視認が可能な状態となっている。 視認が可能な構造物としては、搬入道路、水道施設等が考えられる。 	樹木、市道土与丸上三永線、背後の空で構成されている。	市道土与丸上三永線に施設の搬入道路が接続することから、施設の存在が景観に与える影響が大きいことが想定されるため選定した。
St.2	50m	<ul style="list-style-type: none"> 建設候補地方向は、鍾池から視界が開けており、建設候補地の視認が可能な状態となっている。 視認が可能な構造物としては、法面、ごみ焼却施設、ストックヤード等が考えられる。なお、し尿処理施設については、現有の雑木林により視認できない可能性がある。 	鍾池、樹木、背後の空で構成されている。	鍾池は地域住民が山道を利用した散歩のコースとして、いることが明らかとなっていることから(図-9.11.6参照)、鍾池での周辺の眺望景観が重要であると考え、選定した。
St.6	1,100m	<ul style="list-style-type: none"> 建設候補地方向は、賀茂環境衛生センターの煙突も容易に視認できることから、建設候補地の視認は可能な状態となっている。 視認が可能な構造物としては、ごみ焼却施設、し尿処理施設、法面が考えられる。 	賀茂環境衛生センターの煙突、山、周辺民家、畑、背後の空で構成されている。	賀茂環境衛生センターの煙突を2本確認することが可能であり、1kmを越える遠方において新施設を確認できる可能性があることから、選定した。

④ 予測結果

予測結果は、図-9.10.3～図-9.10.5に示すとおりである。

St.1、St.2及びSt.6は、予測の結果、3地点とも眺望地点から見た視野の範囲内に景観資源は存在しないことから、景観資源への影響はない。

【現況】



【供用開始】



【予測結果】

- ・左側の樹木が新施設の入口、水道施設用地に置き換わることになる。
- ・景観構成要素のうち、右側の樹木は変化がない。なお、視界奥部に見えていた背後の空は、左側の樹木の改変に伴い、多少広がることとなる。
- ・以上より、完全に消滅する景観構成要素はなく、造成法面は積極的に緑化し、また、構造物については、工事の発注仕様書へ色彩等を含め周辺環境との調和を図ることを記載することから景観への影響は配慮されている。

図-9.10.3 予測結果 (St.1)

【現況】



【供用開始】



【予測結果】

- ごみ焼却施設、造成法面等が出現し、ごみ焼却施設の煙突及び建物が視認できる。
- 景観構成要素のうち、左右の樹木及び鍾池は変化がない。なお、視界正面の樹木は、法面等に置き換わる。
- 以上より、完全に消滅する景観構成要素はなく、造成法面は積極的に緑化し、また、構造物については、工事の発注仕様書へ色彩等を含め周辺環境との調和を図ることを記載することから景観への影響は配慮されている。

図-9.10.4 予測結果 (St.2)

【現況】



【供用開始】



【予測結果】

- ・ 視界正面の背後の空の一部は、ごみ焼却施設及びびし尿処理施設に置き換わる。
- ・ 景観構成要素のうち、山、周辺民家及び畑は変化がない。
- ・ 以上より、完全に消滅する景観構成要素はなく、構造物は、工事の発注仕様書へ色彩等を含め周辺環境との調和を図ることを記載することから景観への影響は配慮されている。

図-9.10.5 予測結果 (St.6)

⑤ 評価

ア. 環境影響の回避・低減に係る評価

本事業では、施設の存在及び供用後において景観への影響を回避・低減するため、以下の環境保全対策を講じる計画とする。

【環境保全対策】

- 積極的に法面の緑化等を行う。
- 周辺の植樹を在来種で行い、既存の雑木林との調和が図れるように努める。
- 構造物は、工事の発注仕様書へ色彩等を含め周辺環境との調和を図ることを記載する。
- 「ふるさと広島の景観の保全と創造に関する条例」に準拠し、意匠及び色彩等に配慮した施設とする。

以上の環境保全対策により、景観への影響を回避・低減した計画であると評価する。